



逆瀬台小学校区
10,000人のまちづくり

ゆずり葉だより

編集・発行／逆瀬台小学校区まちづくり協議会(ゆずりはコミュニティ)事務局・広報(発行部数)4,200部
(住所)〒665-0024 宝塚市逆瀬台6丁目1番1号 宝塚市立逆瀬台小学校内
(Eメール)yuzurihacom@a.zaqq.jp (連絡先)石谷 TEL 20-5054
(掲示板)http://8507.teacup.com/yuzuriha/bbs (自由投稿版)
(ブログ)http://www.voluntary.jp/weblog/myblog/230
(ホームページ)http://yzrh.exblog.jp/ (TEL/FAX)0797-73-8839

でくい
健康
明るい
樂しく
まちづくり



ゆずり葉コミュニティ
ブログ・QRコード

秋 第109号

一昨年は「見守り」、昨年は「コミュニティ・スクール」、そして今年は「まちづくり計画」の中の「防災」を取り上げ、「大雨、大地震(南海トラフ大地震)を想定したゆずり葉コミュニティ地域の課題と対策、そして地域が協働で出来る事」をテーマに、当地域に関係する方々が、49名(地域住民23名〔役員含む〕、民生児童委員7名、市役所8名、社会福祉協議会2名、逆瀬川地域包括支援センター4名、ゆずりは会1名、宝塚栄光園1名、コープ神戸1名(順不同)が集まり話し合いを行いました。開催に当たっては、市役所の方々、社協さん、5役のメンバーで、話し合いをした結果、コロナ対策、熱中症対策を万全にした上で、実行することになりました。



○方法一
①自助、互助、共助(安否確認)の課題
②避難所の課題
③備蓄の課題の3つのテーマから各テーマで1つ選んで話を合つてもらう。

○方法二
①自助、互助、共助(安否確認)の課題
②避難所の課題
③消防・防災訓練の実施

部：防災訓練を実施しています。第一部：防災訓練による総合消防訓練。各棟の避難誘導係は各戸の避難確認と避難誘導。白瀬川第三公園に集合整列。市消防隊員指導による消火器説明、操作体験及びAED(心肺蘇生器)などの

【次第】 1、全体説明

会長 石谷

（逆瀬台小学校区まちづくり協議会

○主旨・目的——各自治会、管理組合での「自主防災会」の枠を広げ、一堂に会して話し合うことで、防災意識のより一層の向上と他防災会の活動を参考にすることにより、気づきを得るチャンスとなるであろうことを期待する。

①原則毎月第一土曜日18時から防災委員会を開催、備蓄品の管理点検を実施。通信用トランシーバーの充電管理。議題は都度状況に応じて検討・議論・主に消防・防災に関する情報、新規物品の購入選定

木市)で開催された防災リーダー講習会に参加し地域防災の意義を実感し、現在3名の防災士が所属し活動中。

平成20年に兵庫県広域防災センター(三木市)で開催された防災リーダー講習会に参加し地域防災の意義を実感し、現在3名の防災士が所属し活動中。

○防災委員会の沿革——『阪神・淡路大震災』直後に、震災の精神的・心理的不安を取り除き、明るい太陽の下で体を動かし体力をつける場所作りはできないかの元にグリーンハイツの仲間が行者山にハイキングコースを作ったのが原点です。

（ア）逆瀬川グリーンハイツ防災委員会の取り組み（同自治会 浜崎会長）私たちの基本姿勢は、『自分の命は自分が守る』を合言葉に自助・共助のうち自分たちに出来る事をやろうです。

8月7日(日) 逆瀬台小学校区まちづくり協議会 福祉ネットワーク会議 「第1回防災情報交換会」を開催しました。 (会場：逆瀬川グリーンハイツ集会室)

組み立て式リヤカーでエンジン付き揚水機の搬送、始動及び白瀬川からの給水訓練。運搬用台車3角ホイールキャリーで充電訓練。

第2部 防災委員会指導による防災訓練。
組み立て式リヤカーでエンジン付き揚水機の搬送、始動及び白瀬川からの給水訓練。運搬用台車3角ホイールキャリーで充電訓練。



代産業遺跡『明延鉱山&神子畑選鉱所跡』
丹市防災センター(本年度)：伊藤城、第五回止、第四回：姫路市防災センター＆赤穂城・牛窓(竹久夢二生家跡)、第三回：コロナの為中止、第二回：但馬高原植物園、第二回：赤穂市防災センター＆伊藤城、第五回止、第四回：姫路市防災センター＆赤穂城・牛窓(竹久夢二生家跡)、第三回：

④研修バスツアー
防災訓練の翌週は県内の防災センター研修バスツアーを、住民の皆さんへの防災意識の向上と積極的な防災訓練参加を目的に実施しています。

第一回：兵庫県立三木防災センター＆但馬高原植物園、第二回：赤穂市防災センター＆伊藤城、第五回止、第四回：姫路市防災センター＆赤穂城・牛窓(竹久夢二生家跡)、第三回：

(イ)「当地域における防災の在り方」
(宝塚市総合防災課 嘉村係長)

逆瀬台小学校区まちづくり協議会
当地域における防災の在り方

【課題テーマ】
自助・互助・共助
避難所
備蓄

みんなで協力し合って、防災・減災を！

説明のパワーポイントより抜粋しました。

「備蓄・備え」の課題まとめ
避難所には食糧や防災グッズが潤沢にあるわけではありません。
自分や家族で必要な食糧、物資は自ら準備しましょう。
平常時から少しづつ備えるのがおすすめです。

「備蓄・備え」に必要なもの(主に家庭用トイレ)

「地図の場合の「避難所」の課題まとめ
住民全員が収容できる避難所は存在しません。またその必要もありません。
頭を守り、安否確認、火元確認が第一。「危ない」、「壊れた」などもう自宅に住めない状況の人が、しっかりと準備を整えて中長期で避難生活を送るのが地震の避難。基本は在宅避難です。

「避難所の課題」「被災者の状態」「畜」「被災者の心配」「プライバシーなし」「動物確保困難」

「地図の場合の「避難所」の課題まとめ
住民全員が収容できる避難所は存在しません。またその必要もありません。
頭を守り、安否確認、火元確認が第一。「危ない」、「壊れた」などもう自宅に住めない状況の人が、しっかりと準備を整えて中長期で避難生活を送るのが地震の避難。基本は在宅避難です。

「自助・互助・共助の課題まとめ
地震が発生した直後は、消防・警察・行政はすぐには駆け付けられません。
自分の命と財産は自分で守らなければいけません。
ご近所同士の助け合いも有効です。

自動・互助・共助の課題
阪神淡路大震災 1995年・震度7
大阪北部地震 2011年・震度6
兵庫県南部地震 2016年・震度6
東日本大震災 2011年・震度8